

令和 4 年度 学校関係者評価報告書
大阪市立 東生野中学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果も妥当である。

生徒や保護者アンケートの検証資料の結果から、学校が子どもたちの学力を向上させるために、学習環境を整備し授業改善を行っていることが伺え、継続実施していただきたい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（中学校）

- 令和 4 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 90%以上にする。
R3 89 R4 94
- 令和 4 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
R3 4.8% R4 9.4% (2/7 現在)
- 令和 4 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
R3 1.2%増 R4 6.4% (2/7 現在)

学校の年度目標

- 令和 4 年度末の学校教育アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を 96.5%にする。 R3 96.0 R4 97
- 令和 4 年度末の学校教育アンケート「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を 79%にする。 R3 77.0 R4 77
- 夜間中学校との交流は、世代間を超えた、とてもいい取り組みである。夜間中学生の「学校に行って勉強したい」という熱い思いに、一人一人の人生を感じることができる。これからも継続実施する価値がある。
- AI が発達していくにつれ、より心の優しさや思いやりが必要となる時代になっていくのではないか。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（中学校）

- 令和 4 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 40%以上にする。 R3 37 R4 40
- 令和 4 年度末の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対応比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。
R3 1 年国 0.91 数 0.88 2 年国 0.89 数 0.90 3 年国 0.92 数 0.79
R4 1 年国 0.88 数 0.79 2 年国 0.91 数 0.89 3 年国 0.90 数 0.90
- 令和 4 年度末の大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 45%以上にする。 R3 43.8 R4 49.5
- 令和 4 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 55%以上にする。

R3 54 (2年生) R4 60

学校の年度目標

- ・令和4年度末の学校教育アンケート「朝食を毎日食べていますか」の肯定的な回答をする生徒の割合を95%にする。 R3 90.0 R4 84
- ・チャレンジテストの結果を見ると、府平均には届いていないが、若干の上昇もみられる。教職員の努力の成果が出ていると考えられる。
- ・各種テストの結果を見ると、小学校での指導の大切さがより感じられる。
- ・小学校でテストをすると、話を聞いて回答することはできるが、文章を読んで回答するということになると答えることができない。「読んで、考えて書く」という活動が大切である。よむよむワークシートを活用し読解力向上を図ることはよい活動である。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（中学校）

- ・令和4年度末の学校教育アンケート「先生は、ICTの活用をしている。」の肯定的な回答をする生徒の割合を95%にする。 R2 91.6 R3 94.5 R4 93
- ・令和4年度末の年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。 2/6 現在 17人/31人(54.8%)
- ・生徒の活動を支えるためには、教職員の持てる力を最大限発揮していただく必要がある。そのためにも年次有給休暇を積極的に取得して心身ともに健康にしていただき、全力で生徒のために力を注いでいただきたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

○本年度もコロナ禍の対応で大変だったと思う。その中で、生徒の思い出になる行事を創始工夫して実施していただき感謝している。次年度以降も引き続き行っていただきたい。